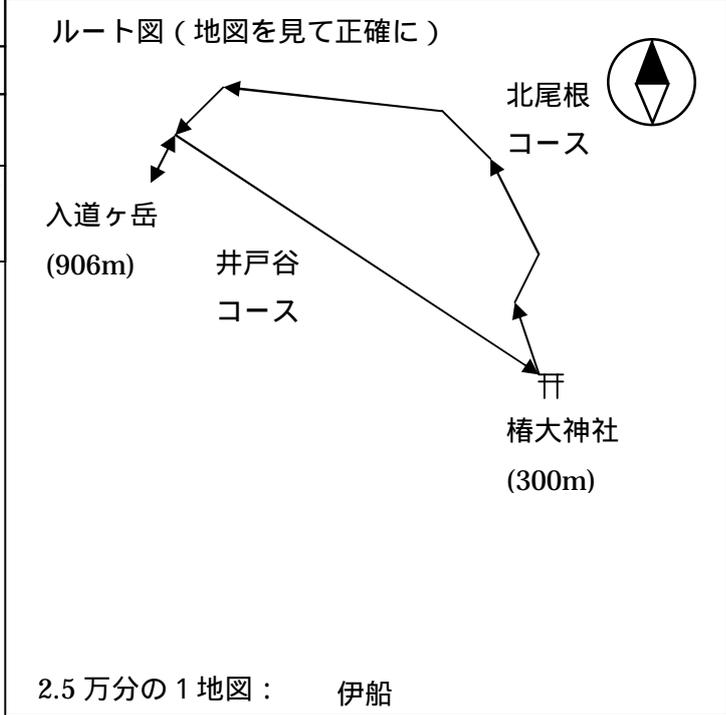


11月度 <small>例会</small> 山行報告書 <small>個人</small>		報告者	芦田	参加 メンバー	CL 吉川、SL 山田明、 芦田、飯谷、松中、加藤、 片山、ほか部外者 7 名
		報告日	11 / 12		
山 域	鈴鹿山系	山行日	08 年 11 月 2 日 (日)		
山 名	入道ヶ岳				

山行目的	社内親睦登山	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	--------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1 リーダー
原紙:集会 担当者



9:15 榊大神社 発
9:50-10:05 ポイント 3
10:40-10:55 ポイント 6
11:25-11:45 ポイント 8
12:15-13:40 入道ヶ岳
14:25-14:40 川
15:30 榊大神社 入浴後、解散

山行報告 4 台の車で、榊大神社に向かう。社で絵地図をもらい、社のわきの道を 10 分ほど行き、見えてくる石段のそばから北尾根コースが始まる。樹林帯の展望はきかない道だが、よく踏まれており、初心者にも歩きやすい。しかし、道は急であり、30 分後早々と休憩する。ここで猿の親子約 7 匹を見かける。さらに急登を行う。林がなくなり、しだいに笹が現れ、ポイント 8 まで来ると、鎌ヶ岳と御在所岳を展望できる。紅葉を見ながら、ナシを食す。ここから 30 分ほどで入道ヶ岳に到着する。三重の街や海が見渡せる。少々風が冷たく、汁粉で温まる。フライで作った仮設トイレが利用者に好評を博す。結局頂上で 1 時間半近く過ごした。帰りの井戸谷コースは、松林の中を行く。なぎ倒された木が多数ある。途中からざれ場が多くいやらしい道になるが、案外おもしろがっているゲストもいる。頂上から 40 分ほど下ると突然川が現れる。ここで伏流水が地表に出てきているようで、これが「井戸谷」の名のゆえんか。さらに 1 時間足らずで、榊大神社に戻る。お参りしたあと、湯の山温泉に寄り、そこで解散。筆者の乗った車は、渋滞、御在所サービスエリアへの寄り道などあり、20 時に本社に着いた。

(リーダー補足) 今回の山行は片山先輩発案の、日頃お世話になっている総務・E さんたちとの交流を兼ねた企画であったが、蓋を開けてみると初級ながら適度な傾斜ある山であったことから、去る 10 月の社内登山大会で山岳部に興味を持っていただいた方々を対象とした新歓山行となった。

リーダー所見 全て 20~30 代前半という若々しい女性ゲスト 7 名を迎えて訪れた晩秋の入道は若干肌寒い一面もあったが、紅葉あり、高低差あり、滝ありと変化に富んだ山行。特に秋風に加えて彼女たちがもたらす風は、日頃聞きなれた山岳部の親父ギャグを吹き飛ばす爽やかな風であり、今後も引き続き新たな風を求め、是非とも勧誘したい。



入道頂上でのごとく

確認 (リーダー)
吉
08/11/11
川
作成 (報告者)
芦
08/11/11
田